

## ジャープネット会員工務店で結成された6グループ 『平成25年度地域型住宅ブランド化事業』に採択

第三者機関・自治体と連携し、地域型住宅の供給と技術向上を図る

全国の工務店ネットワーク「ジャープネット」(主宰：株式会社アキュラホーム、代表取締役社長：宮沢俊哉、東京都新宿区)の会員企業が代表となって結成された6グループは、国土交通省が行う「平成25年度地域型住宅ブランド化事業」に応募し、13年8月6日(木)に採択されました。

地域型住宅ブランド化事業とは、地域における木造住宅生産と維持管理体制の強化、地域資源を活用した「地域型住宅」の供給を支援することを目的に2012年に新設された制度で、今回3回目の募集となります。採択されたグループには1戸当たり最大100万円の補助金が支給されます。(※1)

### ■ 採択された6グループの概要

#### ◇ 東北家守りネットワーク

地域型住宅の名称：地域優良住宅「木継な(絆)の家」(東北エリア対象)

代表企業：(株)花坂ハウス工業 参加会員：(株)協和、光建設(株)、(株)建北社、(有)住俱樂部、(株)立石工務店

#### ◇ ジャープネットビルダー連合福島

地域型住宅の名称：地域活性住宅「我が家」(福島エリア対象)

代表企業：光建設(株) 参加会員：(有)住俱樂部、(有)玉川工務店

#### ◇ 関東家守りネットワーク

地域型住宅の名称：地域優良住宅「絆を育む家」(関東エリア対象)

代表企業：(株)コラム建設 参加会員：(株)リバティホーム、(株)浦野建設、(株)桧山建工、(株)ホームプラザサンヨー、(株)新葉ホーム、ぐん.せい建商(株)、(有)シイケン、平安通商(株)、(株)五十嵐惣一工務店、塚本産業(株)、(株)グリーンランド

#### ◇ 東海家守りネットワーク

地域型住宅の名称：地域優良住宅「集いの家」

代表企業：(株)オカザキホーム 参加会員：森大建地産、中川建築、(株)上村工務店、(株)鈴木工務店、(有)福工房

#### ◇ 近畿すまい守りネットワーク

地域型住宅の名称：地域優良住宅「収納上手な家」(近畿エリア対象)

代表企業：森大建地産 参加会員：(株)上村工務店、田原建設(株)、中川建築、(有)結城建設、(株)前昌建設、前川建設(株)

#### ◇ 中国地域家守りネットワーク

地域型住宅の名称：地域優良住宅「地元自慢の家」

代表企業：(株)アート建工 参加会員：(有)大廣建設、(有)結城建設、豊北産業(株)、(有)ヤマタホーム

### ■ 6グループの特長

当該グループでは、長期優良住宅等の技術・ノウハウを持つ工務店が他をバックアップする体制を構築し、住宅性能評価機関等の第三者機関や自治体とも連携しながら地域型住宅の供給に努めていきます。また、住宅履歴情報の管理・運営を行うことで、工務店・住まい手・サポートセンターそれぞれの立場で履歴共有ができる他、住宅の維持管理計画書(30年間)による点検、修繕積立保険のサポートなど、長期的に維持管理できる体制となっています。さらにグループ全体としては知識習得・技術向上を目的に定期的な情報共有や勉強会を実施していきます。

### <本件について報道関係からのお問い合わせ先>

株式会社 アキュラホーム 広報課 堀越・若林 Email: aqura\_pr@aqura.co.jp

住所：東京都新宿区西新宿2-6-1 新宿住友ビル34F TEL:03-6302-5010 (直通) FAX:03-5909-5560

※1 地域型住宅ブランド化事業は、中小住宅生産者等が他の中小住宅生産者や木材供給、建材流通等の関連事業者とともに構築したグループを公募し、グループ毎に定められた共通ルール等の取り組みが地域資源を活用して地域の気候・風土にあった良好なものを採択し、採択されたグループに所属する中小住宅生産者等が当該共通ルールに基づき木造の長期優良住宅の建設を行う場合、その費用の一部(住宅の建築工事費1戸あたり100万円以内)が補助されます。

評価にあたってはグループが住宅生産・維持管理する地域の特徴の捉え方や、目指す住まいづくりの方向性、それを具現化していくためのグループの連携、地域の選定の考え方、地域型住宅の具体像、共通ルール、各種の取組の内容等を考慮し、特にグループの連携体制の内容や、その持続性、連携体制に基づく取組が重視されています。今回は第3回目の募集となり、全国で480グループが採択されました。

地域型住宅ブランド化事業公式サイト <http://www.chiiki-brd.jp/>

## ジャーブネット(JAHBnet)



ジャーブネットは全国338社の工務店・ビルダーなどが加盟する工務店ネットワーク組織。アキュラホームが94年に独自の住宅建設合理化ノウハウを体系化した「アキュラシステム」を開発。これまでに約2600社の全国の工務店に導入されると共に、98年に(財)日本住宅・木材技術センターの「木造住宅供給支援システム」に認定され、その仕組みをもって工務店組織「アキュラネット」(現ジャーブネット)を設立。全国規模のネットワークによるスケールメリット、地域密着企業ならではのダイレクトサービスを併せ持つネットワークとして全国のユーザーに「良質な住宅を適性価格」で提供。